

報道発表

令和元年6月21日
名古屋税関
中部空港税関支署

令和元年5月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和元年5月分について、輸出は「電気計測機器」、「プラスチック」などが増加したものの、「自動車の部分品」、「電気回路等の機器」、「自動車用等の電気機器」などが減少したことから対前年同月比9.1%の減少となった。また、輸入は「ポンプ及び遠心分離機」、「衣類及び同附属品」などが減少したものの、「有機化合物」、「原動機」、「事務用機器」などが増加したことから、同14.4%の増加となった。

その結果、差引額は277億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	755億円	▲9.1%	1,032億円	+14.4%	▲277億円	+290.4%
	2カ月連続の減少		2カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 電気計測機器	67億円	+20.1%	輸入	増加品目	(1) 有機化合物	86億円	11倍	
		(2) プラスチック	14億円	+11.6%			(2) 原動機	144億円	+31.6%	
		(3) 加熱用・冷却用機器	3億円	+63.5%			(3) 事務用機器	29億円	+74.5%	
	減少品目	(1) 自動車の部分品	29億円	▲56.3%		減少品目	(1) ポンプ及び遠心分離機	9億円	▲70.0%	
		(2) 電気回路等の機器	35億円	▲28.9%			(2) 衣類及び同附属品	18億円	▲19.9%	
		(3) 自動車用等の電気機器	19億円	▲36.1%			(3) 半導体等電子部品	73億円	▲5.4%	
	主要地域 増減	アジア、EU、アメリカが減少				主要地域 増減	アメリカ、アジア、EUが増加			

（参考）ドルレート・・・111.07円（前年 109.08円）1.8%の円安ドル高

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。